



規範的統合への取り組み ～令和3年度厚生労働省職員 派遣に係る支援事業を通して～ 新潟県長岡市の取組

長岡市福祉保健部
長寿はつらつ課

1

長岡市の紹介

【位置】

長岡市は、新潟県のほぼ中央部に位置し、11の地域で構成されています。

【面積・広がり】

- ・面積:891.06平方キロメートル
- ・東西:42.6キロメートル
- ・南北:59.3キロメートル

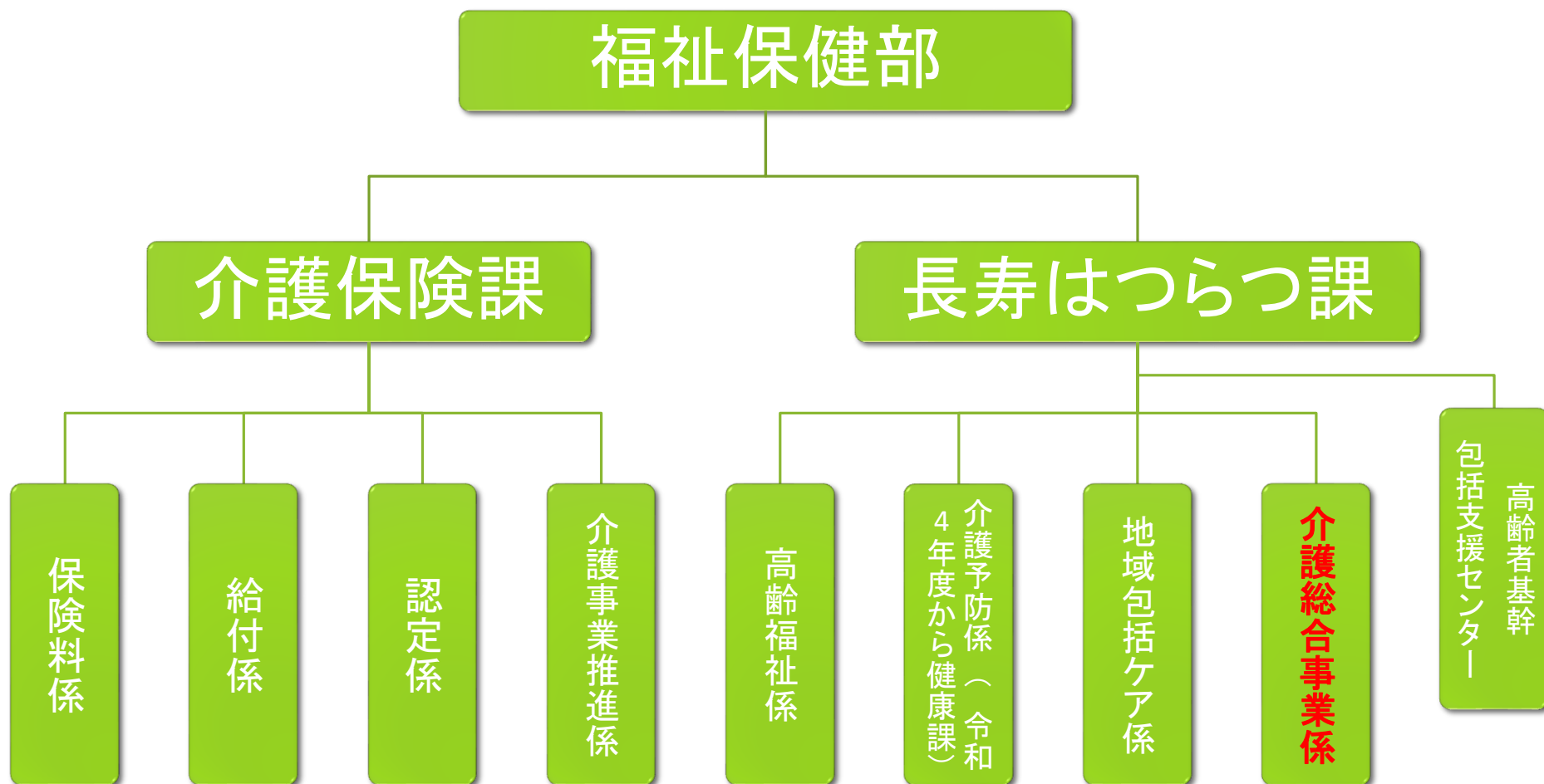
人口:261,929人(令和4年10月1日現在)
高齢者人口:83,481人(令和4年10月1日現在)
高齢化率:31.9%(令和4年10月1日現在)

【参考】高齢化率:新潟県33.7% 全国29.1%
(ともに令和4年10月1日現在)



▲長岡市を構成する11地域

長岡市の体制(介護保険分野)



長岡市の取組み

◆ 介護予防・生活支援サービス事業

- ◆ 介護予防訪問サービス(従前相当)
- ◆ 生活サポート事業(訪問型サービスB)
- ◆ 介護予防通所サービス(従前相当)
- ◆ 暮らし元気アップ事業(通所型サービスA)
- ◆ 短期集中レベルアップ事業(訪問・通所型サービスC)
- ◆ 筋力向上トレーニング事業(通所型サービスC)



◆ 介護予防ケアマネジメント事業

- ◆ 介護予防ケアマネジメント相談員によるプランチェック
- ◆ 介護予防ケアマネジメント相談員による同行訪問
- ◆ リハビリ専門職(OT・PT)による同行訪問・個別相談会
- ◆ 介護予防ケアマネジメントに関する研修会

いろいろと取り組んできたけれども...

プラン点検の方法はこれでよいのかな？

自分たちの取り組みに自信がなくなってしまった...

予防プランは難しいという声がたくさん届く！

(´-ω-`)

研修もどこに視点を
おいたらよいのかわからない...

研修会やプラン点検等の取り組みが、きちんと連動できていない...

様々な取り組みを行ったけれど、効果がわからない...

介護予防・日常生活支援総合事業
等の充実のための厚生労働省職員
派遣による支援事業というのがある
らしい...

いいね、応募
してみよう！

誰かの力を借りて
整理をしないと...
自分たちだけでは
難しい。



4

支援を受けていく中で…

介護予防ケアマネジメントの質の向上が課題

研修の実施やマニュアルを作成したら課題は解決するのでは？

事業所ごと、支援者ごとに目指す姿が異なる現状が見えてきた…

市の方針を関係者や市民の人に伝えていないかも……

関係部署と方針のすり合わせをしていないので、係の方針を市の方針と胸を張って言えない…

研修などの前に、そもそもの土台作りが必要なのでは…！

国や県の支援を受けていく中で、大切だと思うことに変化がでてきました。→**結論:規範的統合**



規範的統合に向けて①

- ◆ 庁内で市の目指す姿・方向性を検討しよう！
 - ◆ 関係する部署に声をかけるも…
 - ◆ 関係部署に理解をもらうことの大変さ、係の意識を統一することの難しさで気持ちが辛くなることも…(´・ω・`)
- ◆ そのときにとっても心強かった支援
 - ◆ 国や県の名前を前面にださせてもらうことができた(国・県の意向で…という形で、少し強引にお願いができた)
 - ◆ 第三者の視点で助言をもらうことができた

何度か話し合いを続ける中で、市の目指す姿・方向性を決定！
話し合いをするうえで工夫したことは…



規範的統合に向けて②

- ◆ 市の目指す姿をまずは関係者と共有しよう！
 - ◆ 地域包括支援センターと市の方針について検討を行った。
 - ◆ 事業所には市の方針を文書で通知し、アンケートもあわせて行った。
- ～そのときの状況や思い～
 - ◆ 市の方針に対して肯定的な意見のみではなく…方針がぶれそうな状況になった。
 - ◆ コロナ対応に加え、係員の長期動員も重なり、規範的統合への取組に対する負担感が増大した。
 - ◆ 係内の意見が活発になる反面、思いが定まらない時期でもあった。

◆ そのときにとっても心強かった支援

- ◆ そもそもの考え方を、ミニ講話や助言という形で国、県の支援者から話をしてもらった。
- ◆ 第三者の視点での助言。
- ◆ 打合せを頻回におこなってもらい、係内、庁内の気持ちが集まるような働きかけをしてもらった。
- ◆ 国や県の人と一緒に仕事ができるということで、積極的に関わってくれた支援者が複数できた。

→ 応援団の結成！

この時期の記憶が欠落しており、振り返ってみると一番つらかった時期のように感じます。きっと国や県の皆さんからの支援がなければ、投げ出していたと思います。



7

規範的統合に向けて③今年度の取り組み

- ◆ 長岡市の取組みの説明(介護保険に関わる事業所から医療関係者に拡大)
 - ◆ 長岡地域病院ソーシャルワーカー勉強会で「長岡市の考える自立支援」「総合事業の概要」について説明
 - ◆ 地域包括支援センター主催の多職種交流会(在宅医療・介護連携推進事業)で、自立について参加者と一緒に考える場を設定

～参加者の反応～

- ◆ 総合事業について知らなかったという声が多数聞かれた。
- ◆ 規範的統合に対する考え方の差が大きかった。

関心を持ってもらうための働きかけや巻き込んでいく工夫の難しさを実感しています。



◆ その他取り組んだこと

- ◆ 介護予防ケアマネジメントマニュアルの改訂
- ◆ 介護予防ケアマネジメント研修の実施（動画研修）
- ◆ 介護予防ケアマネジメント点検マニュアルの作成開始（検討委員の公募）
- ◆ 総合事業のパンフレットの改訂
- ◆ 地域支援事業同士の連携強化
- ◆ 地域包括支援センター、介護支援専門員を取り巻く社会資源の整理

など

モデル事業というかたちで、今年度も県の皆さんが支援を継続してくれています。



国や県の支援を受けて気づいた 規範的統合の大切さ

- ◆ 支援を受けていく中で、悩んでいた原因が「自立・自立支援についての規範的統合」にあることが徐々に見えてきました。自分たちだけで考え行動していた時は答えが出ず、周囲を巻き込んでいくこと、関係者と共に考え行動することで答えが見えてきた・・・まさしく連携の重要さが第2の答えで、それを私たちが気付くように導いていただきました。 ～伴走支援終了後の感想より～



今まで悩んでいた課題の原因を追究していくと、全て「規範的統合ができていない」というところに繋がりました。市民、支援者、行政が同じ方向で支援にあたっていける体制を目指して頑張っています。

9

規範的統合を進めてみて…

- ◆ 自分1人、係のみでできる業務はほとんどなく、多くの人に理解・協力をしていただく必要があります。また、地域支援事業はそれぞれの事業が関係しあうことで、より大きな効果をもたらすことにも気づきました。
- ◆ 庁内で規範的統合を行わないと、事業が広がっていかない！
- ◆ しかし…、市役所内部の調整は、外部との調整以上に精神的ダメージが大きく、正直とてもつらいです。
- ◆ 自分達の理解者、応援団をたくさん作っていくことが大切！県の担当者が理解者になってくれると♡。
- ◆ 規範的統合を進めていく過程は苦しいけれども、規範的統合ができた後はとても仕事が行いやすくなるのも事実です！

最後まで報告を聴いていただき、ありがとうございました。

そして、今回の支援事業に携わっていただいたすべての皆様に感謝いたします。

